

21世紀を担う調和のとれた人間教育

「社会人に向けて高校生がすべきこと」

●講師 和田由紀 氏 株式会社 mellia 代表取締役

一貫部高校2年生対象に講演をしてくださいました。ゴールドマンサックス退社後、友人とともに起業し、ビジネスパーソンとして活躍。自らの生き立ちや学生時代の経験、就職活動等で得た多様な価値観をもとに、将来に向けて考え始める高校2年生に「今何をすべきか」、「何を意識して日々を過ごすか」等、将来を見据えるために大きなヒントを得ることのできる講演となりました。

●自分の立ち位置を考える

自分を客観的に分析するための「俯瞰的視点を持つ意識」についてお話がありました。

「自分の価値とは？」ということ考えたとき、自分の得意分野や苦手分野を把握し、チームで補い合っていくこと、役割分担の大切さについてわかりやすく説明していただきました。「自分の価値」というものをいかに把握できるかということは社会に出る上で非常に大切なことです。その場において自分の立ち位置を考え、最適な行動をとれるようにする、またその対応ができるような準備を常にしておく。多様な業務にかかわる外資系企業で働いた経験を持ち、自ら会社を営んでいる和田氏の経験からの非常に説得力のあるお話でした。



●三つの「タイカン」を鍛える

鍛えるべき「タイカン」とは、①『体幹』、②『体感』、③『大観』です。

①『体幹』については、「自分の軸」をもち、人生の波に柔軟に対応するという事。またその中でぶれない自分の「芯」をもち、信念を貫くことを考えていくということでした。②『体感』では、自分の感覚を鋭く持ち、世の中の出来事に敏感に反応するという事。また③『大観』では、当たり前前のことが当たり前ではない時代である現代において、物事を判断する、あるいは予見する「大局的視点」を持つということでした。

どの「タイカン」も一朝一夕で身につけていくものではありません。日頃からの意識の持ち方、そしてその意識を持った上での行動が大切だということを考えさせられました。高校2年生の今からできることを意識していきたいと考えました。

●講演を聞いて【生徒感想】

- ・高校生の内に自分のやりたいことの幅を広げていくのは大切なことだと思い、その過程で自分と向き合うことの大切さを学びました。
- ・まだ進路が決めていない私にとって多くの選択肢があることがわかり、大学や社会人生活が楽しみにになりました。
- ・それまでの考え方にこだわり、視野が狭くなっていることがあったので、今日の講演を聞いて、広い視野で、以前からの固定概念にとらわれない発想をすることの大切さを感じました。
- ・自分も3つの「タイカン」を意識して日頃からの学校生活をより充実したものにしていきたいと感じました。

